

[成果情報名] 諫早湾干拓地における雨よけハウス栽培ズッキーニ

[要約] 諫早湾干拓地における雨よけハウス内でのズッキーニ栽培は、品種「コンテ」を用い3月中旬に定植、雌花の開花時にトマトトーン 50 倍希釈液の噴霧を行い、ハウス内気温の上昇に伴い障害果率が増加するため5月下旬程度までの栽培体系が適する。

[キーワード] 雨よけハウス、ズッキーニ、トマトトーン 50 倍希釈液、噴霧

[担当] 長崎県農林技術開発センター・干拓営農研究部門

[連絡先] (直通) 0957-35-1272

[区分] 総合・営農(干拓)

[分類] 指導

[作成年度] 2018 年度

[背景・ねらい]

農業法人等の大型農業経営体において、労働力の確保は重要な課題である。特に作物栽培が少ない時期も含めた周年雇用体系の確立が必要とされている。諫早湾干拓地のレタス栽培経営体では1～3月収穫のハウス栽培レタスが導入され冬季の出荷の安定や作業者の労働環境改善に寄与しているが、3月以降は気温が上昇しハウスレタス栽培が難しくなる。

そのためレタスの栽培が減少する3月から作付準備が始まる8月において栽培可能な作物の選定や導入等が必要である。そこで、3月以降に導入が可能である雨よけハウス栽培ズッキーニについて、品種選定や栽培時期を検討する。

[成果の内容と特徴]

1. 3月下旬定植のズッキーニは着果促進のためにトマトトーン 50 倍希釈液の噴霧を行うことで商品果率が高くなる(表1)。
2. 3月下旬定植のズッキーニで「コンテ」、「ラベン」、「パスコラ」の3品種では「コンテ」が収量、商品化率とも高い(表2)。
3. 定植時期による収量は、3月中旬定植と下旬定植では差はないが、4月上旬定植は少なくなる(表3)。
4. ハウス内の気温の上昇に伴って植え付け時期に関わらず障害果率が増加し、5月下旬では障害果率は40%程度になる(図1)。

[成果の活用面・留意点]

1. 2016、2017、2018 年度 3 カ年の成績である。
2. 単棟雨よけハウスでの試験結果である。

耕種概要 (3月中旬定植試験)

播種: 2月中旬, 定植: 3月中旬, 開花開始: 4月上旬, 収穫開始: 4月中旬, 収穫終了: 6月中旬

施肥: 基肥(硫安 N-5kg/10a) 追肥(5月上, 下旬 硫安 N-1kg/10a)

開花に併せて、トマトトーン 50 倍液を雌花に噴霧

栽植密度: うね幅 150cm×株間 80cm 1 条植え 833 株/10a

ハウス規格: 間口 6m 高さ 3.1m 長さ 20m AP ハウス

[具体的データ]

表1 開花時のトマトトーン噴霧と収量 (2016年)

品種	トマトトーン噴霧	商品1果重量	総収量	商品収量	商品果率
		g	kg/10a	kg/10a	%
コンテ	あり	239.4	3164	2670	67
	無し	220.9	2589	1902	55
ラペン	あり	221.3	3199	2503	58
	無し	161.5	2722	1360	37
品種		**			
トマトトーン噴霧		**			
品種×トマトトーン噴霧		*			

注) * : 危険率5%で有意差あり
 ** : 危険率1%で有意差あり (分散分析)

表2 各品種の収量 (2017年)

品種	収穫個数 個/株	平均1果重	商品果1果重	総収量	商品収量	商品果率
		g	g	kg/10a	kg/10a	重量%
コンテ	24.6	175.1 a ^z	176.0 a	3686	2632	71.4
パスコラ	35.0	107.6 b	98.3 b	3527	1612	45.7
ラペン	35.3	102.4 b	100.1 ab	3014	1257	41.7

z : 縦の異なる文字感にはTukeyの多重検定により危険率5%で有意差あり
 すべての品種で開花時にトマトトーン50倍希釈液を雌花に噴霧

表3 植付時期と収量 (2018年)

区名	定植日	収穫開始日	収穫終了日	収量						
				全収穫果		商品果		商品果率	全収量	商品果収量
				個	kg	個	kg	重量%	kg/10a	kg/10a
3月中旬植	3月15日	4月16日	6月11日	299	70.3	165	51.6	73.4	2585	1897
3月下旬植	3月26日	4月21日	6月11日	269	61.5	139	42.1	68.5	2263	1551
4月上旬植	4月5日	5月1日	6月11日	189	34.7	94	23.6	68.2	1275	870

15cm以上で、曲がり・傷等がないものを商品果とした
 開花時にトマトトーン50倍希釈液を雌花に噴霧した。

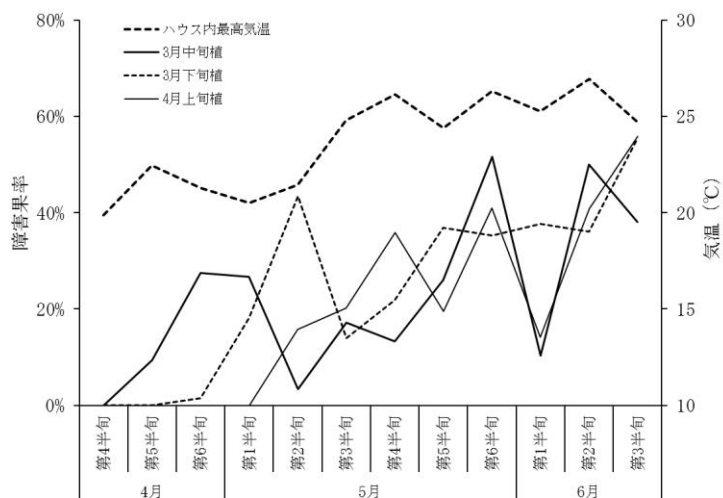


図1 収穫時期と障害果率の推移 (2018年 品種: コンテ)

[その他]

研究課題名: 環境保全型農業技術による安定生産技術の確立

予算区分: 県単
 研究期間: 2016-2018 年度
 研究担当者: 宮寄 朋浩